

EIWA UNIVERSE

第34号

発行日 2026年 7月 22日

☆新入生のリトリートが初めて学内で行われました☆

ハイライト:

- 新入生リトリート(1p)
- 留学生センター(3p)
- 研究室探訪 (6p)
- 後援会だより (8p)

目次:

学長言	2
ボランティアセンター 留学生センター	3
学科ニュース	4
研究室探訪	6
キャリア支援課 学部事務室	7
後援会 経営課・連携課	8

宗教主任の佐々木謙一です。2026年度も無事に新学期を迎えることができました。何よりも神様の祝福によると感じ、とても感謝しております。

そのような中、4月11日(土)に本学構内においてスチューデント・リトリートを人間社会学部・短期大学部合同で行うことができました。昨年度までは一泊二日のカリキュラムで行われておりましたが、本年度は本学構内において一日の日程で行うことになりました。

初めてのこともあり心配しておりましたが、新入生は学科の先生方や上級生と触れ合うことで、入学してからの緊張を和らげることができたようです。

さらに、新入生同士が初めて話す人々とコミュニケーションを取ることで、大変有意義な時間を過ごすことができました。教員の皆様はもちろんのこと、上級生たちが新入生のために一生懸命準備をし、プログラムを順調に遂行したことが何よりも良かったと感じております。

チャペル礼拝は、昨年と同様に1年生を対象に行っております。本年度は大木麻理先生とともに、大木恵子先生にオルガニストとして来ていただくことになりました。先生方の素晴らしい演奏を学生たちも大変喜んでいました。そして、何よりも先生方の誠実な姿勢が伝わり、礼拝そのものが引き締まったものとなったと感じております。



加えて、今年の一年生は積極的に讃美歌を大きな声で歌ってくれていることが目につきます。何よりも、お祈りの最後に大きな声でアーメンと言ってくれることは素晴らしいことだと感じております。

宗教委員会としては、常に学生の皆さん

に何をし
てあげ
られる
かを考
えてお
ります
。その
よう
な中
で、



静岡市近郊の教会から前期、後期それぞれに牧師先生よりお話をさせていただくことになりました。

また、学長の永山先生には毎月1回お話をさせていただき、前期には人間社会学科の石山先生と郭先生に、後期には現代コミュニケーション学科の勝俣先生と食物栄養学科の望月先生にお話をさせていただくことになりました。

さらに、礼拝の司式と聖書朗読を学生に担ってもらっておりますが、本年度も引き続き行っていくこととなりました。このようなこともあって、学生主体のキリスト教行事の実践が徐々に浸透してきたように思います。

そして、昨年前期に実施することができたワンコインコンサートを、本年度は後期に実施できるよう準備を進めている状況です。

このように、4月からチャペル礼拝を中心に活動をさせていただいておりますが、今後の活動として木曜日の4時限に「聖書研究会」を発足することになりました。現在4名の学生が参加しております。

秋には創立記念礼拝、冬にはクリスマス礼拝を予定しておりますが、学生に声をかけて手伝っていただけるようにしていきたいと思っております。

最後に、わが静岡英和学院大学は、聖書の教えを基盤とした教育を行っているキリスト教プロテスタントの大学であり、イエス・キリストが教えてくださった「求めなさい、さらば与えられる」という言葉を胸に、学生への教育に励みたいと思っておりますので、どうかご支援のほどよろしくお願いいたします。(宗教委員会 佐々木)

さが つづ あゆ さき
探し続ける歩みの先に

学長 永山 ルツ子



永山 ルツ子
(ながやま るつこ)
学長

もと 求めなさい。そうすれば、^{あた}与えられる。さが 探しなさい。そうすれば、^み見つかる。^{たた}叩きなさい。そうすれば、^{ひら}開かれる。だれでも、^{もと}求める者は受け、^{さが}探す者は^み見つけ、^{たた}叩く者には^{ひら}開かれる。

(マタイによる福音書 7章7-8節)

^{みな}皆さんは、^{だいがくせい}大学生活の中で、「^な自分には何が向いているのだろう」「^{しょうらい}将来、何をしたいのだろう」と^{かんが}考えることがあるかもしれません。^{まわ}周りを見ると、^みすでに^{もくひょう}目標

^きが決まっているように見える人、^み自信を持って進んでいるように見える人もいます。^{しやう}しょう。

^{じっさい}しかし実際には、^{おお}多くの人が^{ひと}不安や迷いを抱えながら、^ふ自分の道を探しています。

^{わたし}私の^{いもうと}妹は^{おんがくだいがく}音楽大学を卒業して^{そつぎやう}就職した後、^{しやうしやく}自分の夢をかなえるために^{のち}お金をためて^{じぶん}留学し、^{ゆめ}今では^{かね}海外に住み、^{りやうがく}海外の子どもたちに^{いま}音楽を教えています。^か人生は、^き最初からすべてが決まっているわけでも、^{こた}答えが見えているわけでもありません。^{あゆ}歩みながら、^{さが}探しながら、^{すこ}少しずつ道が開かれていくものだと思います。

^{さが}イエスさまは、「探しなさい」と言われました。^い迷いながらでもよい、^{まよ}失敗しながらでもよい、^{しっぱい}自分の道を探し^{じぶん}続けて^{みち}みなさい、^{さが}という励ましの言葉だと思います。

^{だいがくせい}大学生活には、^{じゆぎやう}授業、^{ゆうじんかんけい}友人関係、^{じっしやう}アルバイト、^{しやうしやく}実習、^{かつどう}就職活動など、^{おお}多くの出会いと^で選択があります。^あ思うようにいかないこともあるでしょう。^{じぶん}自分に^{じしん}自信が持てなくなる日も^もあるかもしれません。^ひしかし、^{なや}悩みながら^{すす}進むこと^{じたい}自体が、^{さが}すでに「探している」ということです。

^{ほんがく}本学もまた、これまで大切にしてきた^{たいせつ}学びを受け継ぎながら、^{まな}新しい教育の形を探し続けています。^う短期^{あた}大学部^{きやういく}食物栄養学科が^{がた}培ってきた^{さが}食と健康、^{つづ}栄養に関する^{たんき}知見を、^{だいがく}形を変えて^{つちか}本学の大切な財産として^{しやく}未来へつないで^{けんこう}まいります。

^{みな}これから皆さんは、^{まよ}たくさん迷い、^{かんが}考え、^{えら}選りながら^{あゆ}歩いていこう。神さまは、^{かみ}皆さん一人ひとりに、^{こと}それぞれ異なる道^{みち}を備えて^{そな}くださっています。

^{あゆ}その歩みの先に、^{さが}皆さんだけの^{みな}未来が、^{みらい}きっと開かれていくことを願っています。

^{しゆ}主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

☆ボランティアセンター☆

2026年度 新生“ボラセン”始動！

全国大学生活協同組合連合会の2024年度学生生活実態調査では、サークル加入率は全国平均63%を上回っています。本学のサークル加入率はコロナ禍以降、微増しているとはいえ、20%に満たない状況です。しかしながら、2026年度新入生は活発かつやる気にあふれた学生が多いためか、サークル等の加入率が多いように感じます。

ボランティアセンターも例外ではありません。本年度ボランティアセンターは上級生の人数を上回る30人以上の学生が加入してくれました。人数がとて多くなったこともあり、先輩たちは新たな活動場所を求めて、新規に子ども食堂支援ができる場所を開拓したり、新たな環境整備のプロジェクトを模索したりしているところですよ。

また一昨年から始まった同窓会の皆さんとのコラボ事業も随時活動中です。5月17日(日)には同窓会の

皆さんからお声掛けいただき、静岡けやきライオンズクラブの皆様と静岡てんかん・神経医療センターの花壇の手入れボランティアを実施し、静岡新聞にも掲載いただきました。

その他にもボランティアセンターの活動はInstagramで随時公開しています。是非Instagramで『英和ボラセン』を検索してみてください。昨年度や今年度のボランティアセンターの学生が頑張っている姿を掲載中です。とても可愛く、見やすい作りになっています。インスタ運営も学生がやってくれています。是非、フォローをして応援してあげてください。

(ボランティアセンター 荒川)



←ボラセンインスタ
QRコード

☆留学生センター☆

本年度は過去最多(大学97人短大93人、計200人)の留学生が入学し、総在籍数(5月1日現在)は大学162人、短大125人、合わせて287人となり、総学生数に占める割合も30%を超えました。これまで在籍のなかったブラジルやパキスタン、ウズベキスタン、ペルー国籍の学生も入学し、さらに国際色豊かになりました。

本学では留学生が快適で充実した大学生活を送れるように、留学生センターを設置しておりますが、本年度は留学生数の増加を見込んで職員を1名増員し、2名体制で留学生のサポートをしています。



また、主催行事の運営や留学生サポートの一端を学生スタッフが担っており、今年は新入生23人を含む計49人(6月10日現在)もの学生が在籍し、行事の

計画・運営、相互交流を行っています。過去にないほどの盛り上がりで、そのまとめ役を担ってくれて

いる学生リーダーが、人間社会学科3年の平田莉菜さんと同2年のキン ヤティーピョーさん

(ミャンマー出身)の2名です。

本年度最初の主催行事は4月21日(火)に開催した新入留学生歓迎交流会です。お昼休みの短い時間での開催ということもあり、留学生が立ち寄りやすいようにと新館201教室で行いましたが、教室に入りきれないほどの参加者があり、サークルの中心の鬼役が誰がポーズの発信者が当てる『震源地ゲーム』を行い大盛り上がり。笑顔溢れる楽しい交流ができました。自主的な交流会も頻繁に行っており、これからの活動が楽しみです。

(留学生センター長 平井)



☆人間社会学科☆

人間社会学科の人間社会学科の佐々木謙一です。5メジャーの報告をいたします。学科の活動は以下のとおりです。

心理メジャーでは、今年度から、公認心理師資格を持つ、臨床心理学を専門とする酒井渉先生が赴任されました。毎年数名の学生が公認心理師を目指して、公認心理師資格要請に対応した教育カリキュラムに取り組んでいます。

観光地域デザインメジャーでは、地域の観光振興を目指した取り組みを推進しています。直近では、郭研究室による企画ツアー「シズオカの中のオクシズ」「みしま日和～ぎゅっとつめこんだ！三島のまちを五感で歩こう～」が開催され、好評を博しました。引き続き、メジャーを挙げて取り組みを進めて参ります。

昨年12月6日にTOEIC-IPテストを実施しました。英語教職者を中心に英検に挑戦した学生もおります。昨年度は英2級に2名合格、準1級1名合格、TOEIC600点達成6人、TOEIC720点達成8人となりました。英語メジャーではさらに学生た

ちの英語力向上に努めていきます。

2026年度の人間社会学部の新入生は、日本人も留学生も共に100名を超える入学者数となりました。結果、「日本語・文化」に関する科目の留学生の受講者数や必修科目のクラス数は倍増し、非常勤講師の先生方にも多大な尽力を得ています。本学の教育が多くの方々に支えられていることに改めて感謝いたします。

経済経営メジャーでは、各ゼミでテキストの輪読や日経新聞の解説、アンケート調査に必要な分析方法の学習、資格取得対策などを行い、各専門分野への理解を深めています。また、学んだ知識を模擬店運営などの実践活動に活かすゼミもあります。

人間社会学科は留学生も多く在籍し国際色豊かな学科ではあります。教職員一同が一丸となって静岡の地に優秀な学生を送り出すように頑張っています。また、皆様のご支援があってこそ人間社会学科ですので、これからもよろしくお願いいたします。

(人間社会学科 佐々木)

☆コミュニティ福祉学科☆

子育て支援センターによる学生の学びの広がり

2025年1月、静岡市と本学が連携協定を結んだことにより、同年3月17日より静岡英和学院大学のキャンパス内に「地域子育て支援センター」がオープンしました。大学のキャンパスに設置するのは静岡県内で初めての試みです。それから約1年、少しずつ授業やゼミによる活用が増え、今では保護者から「次に学生さんが来るのはいつですか」と質問が来るほどに、学生のセンター利用が期待されています。保育者を目指す学生の中には毎日のようにセンター



に通って親子と顔なじみになっている学生もいて、親御さんの中の教職経験者から実習のアドバイスをもらったり、センターの保育者から乳児を上手に抱いて眠らせる名人と呼ばれたりして、座学ではできないさまざまな学びが生まれています。

「保育実習指導」や「幼稚園教育実習指導」の授業では、自作のエプロンシアターをはじめとした実技披露を、授業で練習した後、センターで親子に向けて実際にやってみました。写真はその一場面です。保育の場では、突発的な出来事に臨機応変に対応する力が求められますが、ここでの経験を元に、学生が自信をもって実習に臨むことができたと感じています。今後もこのセンターの活用を通して、学生の学びがますます広がっていくことでしょう。



(コミュニティ福祉学科 永倉)

☆現代コミュニケーション学科☆

現在日本の大学では、国公立大学を問わずに大きな危機を迎えている。大学業界は昭和25年学制改革での新制大学を設置してから、主に受験者の増大で私立大学で新設、学部、学科の増設を行われてきた。さらに、1960年代日本の高度経済成長は、多数の人材供給、技術開発に貢献して来た。その結果、日本の大学業界は、現在では、教員19万人、職員26万人、学生総数263万人、高等教育に関する予算1兆9千億円、国立85校、公立100学校、私立418校、短期大学245校と大きく拡大、飛躍を遂げた。日本の大学は、有力な産業に拡大、発展したのである。

ところが、大学業界には、文部科学省、財務省から大学に対して大学での経営改革を強く求められている。とくに、財務省からは、私立大学240校に整理統合する案が読売新聞に掲載されて、社会的に大きな反響があった。高等教育に関する予算は、日

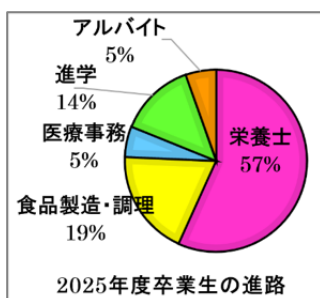
本の経済規模から考えれば先進国の中で低水準にあるにも関わらずである。日本型の私立大学モデルは、受講者を大量に集めて、大教室で1人の教員から講義を聞いて学習する。財務構造は、学納金、受験料に大きく依存する形であった。この経営手法は、少子高齢化もあって、現在困難を生じている。

しかし、本学では、このような危機に対処すべきであろうか。本学では海外大学をモデルとして、学生定員確保、講義の質的向上、寄付金を集めることを強化する必要がある。さらに、経営目標は、国際レベルの教育評価に耐えうるができること、海外大学での留学生制を受け入れてきたことから学習して、学習評価、支援システムを刷新が望ましいからだ。本学の教員には、海外の大学行政に精通する人材が複数に存在する。短期大学では、有用な人材を活用して、引き続き改革、改善に取り組む所存である。

(現代コミュニケーション学科 児玉)

☆食物栄養学科☆

2026年3月、38名の学生が本学科を卒業していきました。就職率は12年連続の就職率100%を達成し、約6割が栄養士の職に就きました。卒業後もさらに学ぶ道を選んだ進学者が5名と多く、本学人間社会学部3年次編入学が4名、管理栄養士課程四年制大学3年次編入学が1名でした。在学中の資格取得状況は、栄養士32名、フードサイエンティスト9名、フードスペシャリスト2名で、中には複数資格取得の強者もありました。既卒者の状況として、今年3月1日に実施された第40回管理栄養士国家試験



に6名が見事に合格を果たしました。栄養士資格取得後、受験資格取得のために3年以上の実務経験を積みながら学びを続けた努力の賜物です。卒業生の皆さん、おめでとうございます。地域に貢献し大いに活躍されることを期待しています。新年度4月本学科は今

までで最も少ない26名(男子3名、女子23名)が入学し、うち6名が社会人入学者でした。社会人経験者の向上心が、若い世代のクラスメートたちの学びにも大きく影響するのだろうと新入生たちを見守っているところです。

また、いよいよ新カリキュラムが、始動しました。カフェ・スイーツ実習が前期に開講し、2



年生は外部講師からカフェで提供されるような本格的ドリンクやスイーツの指導を受け実践しています。専門知識と技術の習得に真剣に取り組み、出来栄に満足げな表情を見せていました。後期には、食と美容の最新情報や技術を修得できるビューティー・ウェルネス論が開講し、学生はこの実習にも期待を寄せています。

最後に、食物栄養学科卒業生の皆さんに残念なご報告です。昨今の少子化の影響により学生数の確保ができず、本学科は今年度入学生を最後に次年度以降の学生募集を停止することになりました。本学科は1969年(昭和44年)設立以来、食を通して地域に貢献できる栄養士の養成に携わり56年間で4千名もの栄養士を社会に送り出してきました。このうちの約3千名が私の教え子です。歴史が途絶え栄養士養成の場を失うことをとても残念に思います。母校閉校というつらい思いをさせてしまい、大変申し訳なく思います。寂しさや喪失感を拭い去ることはできませんが、心の中に静岡英和の食物栄養学科出身だという誇りを持ち続けてください。卒業生の更なるご活躍を祈念しております。

(食物栄養学科 望月)

☆研究室探訪☆



赤羽 尚美(あかはね なおみ)

所属:人間社会学部

コミュニティ福祉学科

職名:准教授

専門分野:「絵本学」「発達心理学」
「保育・幼児教育」

皆さん、ごきげんよう。コミュニティ福祉学科保育・幼児教育メジャー担当の赤羽尚美です。このコーナーでは、教員が専門の研究領域のお話をするようですが、実は保育学や幼児教育学よりも私の専門は絵本学、発達心理学であり、保育士・幼稚園教諭としてではなく、公認心理師・臨床心理士として子どもたちの成長や発達を応援しています。関わる子どもの対象年齢は小学生以上が主ですが、毎年4月にぴかぴかの1年生を迎える時、いつも思うことがあ

ります。つい数日前まで過ごした園では、年長さんの貫禄で幼児期の青春時代を謳歌していた子どもたちは、小学校の生活では園とはまるで異なる環境におかれ、不安や心細さでいっぱいになったり、時間割で制限される生活に葛藤を感じたりすることもあるだろうと思います。環境的にも広くなる小学校は、同じような教室がいくつも並び、迷路の中に閉じ込められるように感じるかもしれません。

子どもたちは異文化状況を自分なりに乗り越えて、いつの間にか中学年、高学年となって卒業の日を迎えるわけですが、子どもの新しく出会うものに対するしなやかさは、幼児期にその学びの土台が創られます。日々、さまざまな「初めて」の経験に寄り添い、また、子どもたちの新たな出会いをクリエイトする保育・幼児教育の営みの素晴らしさに、感嘆せざるを得ないのです。多くの皆さんが保育や幼児教育に関心をもって下さることを願いつつ、本学で保育者を目指す学生と学び合えることに感謝をしています。



☆キャリア支援課☆

～全学年対象～

学内企業説明会を開催しています！～

本学では、学生の皆さんが企業・法人・団体の方と直接お話しできる機会として、学内企業説明会を開催しています。

近年、就職活動やキャリア形成のスタートが早まっていることから、2026年度より対象学年を全学年へ拡大しました。大学1・2年生、短大1年生の皆さんにとっては、「社会にはどのような仕事があるのか」「どのような業界があるのか」を知るきっかけになります。大学3・4年生、短大2年生の皆さんにとっては、就職活動の準備や選考につながる大切な機会です。低学年向けにインターンシップ情報も紹介されます。

2026年3月から2027年3月まで全13回

毎月1回 新館1階ラウンジで開催

<8月以降の開催日>

- ・第6回:8月7日(金)
- ・第7回:9月11日(金)
- ・第8回:10月9日(金)
- ・第9回:11月13日(金)
- ・第10回:12月11日(金)
- ・第11回:1月22日(金)
- ・第12回:2月12日(金)
- ・第13回:3月12日(金)

開催のお知らせは学生ポータルサイトで発信し、Googleフォームから事前申込を受け付けます。学内での開催ですので、髪型・服装は自由です。

※授業と重なる場合は欠席届の対象となりますが、公欠ではありません。

参加される企業・法人・団体の皆さまは、本学の学生に関心を持ち、採用したいという思いで来学されています。日本人学生だけでなく、外国人留学生の採用を希望する企業も参加されます。

例年、学内企業説明会への参加をきっかけに内定につながる学生も多くいます。まだ就職活動を始めていない方も、学内開催ですので、気軽に参加してみてください。

(キャリア支援課 松本)



☆学部事務室☆

防災気象情報等による休講について

5月29日(金)から防災気象情報が新しくなりました。そして6月10日(水)には気象庁がエルニーニョ現象の発生を確認し、強大化も予測し、今年も昨年以上の猛暑となる可能性を示しました。今年も多くの台風が予想され、静岡県に接近する台風もあるかと思います。今年は早くも6月3日(水)に台風6号が静岡県に最接近し、終日休講としました。

本学では、防災気象情報等による休講を以下のように定め、状況により弾力的に運用しております。

警報等	特別警報※1	緊急安全確保※2	大雨警報※1	かつ	避難指示※2
判断時点			暴風警報※1	かつ	交通遮断※3
午前7時	終日休講		午前休講または終日休講		
午前11時			午後休講		

左記以外(大規模地震等を含む)の場合においても、授業の実施が困難であると予想される場合は、休講とすることがあります。

防災気象情報等による休講は、ポータルサイトでお知らせします。

自宅や通学路を含む地区に警報等が発表されている場合は、各自安全に十分配慮し、自宅待機や避難等のその時点で最善の安全確保行動を取ってください。

なお、オンライン授業は原則休講になりません。対面授業をオンライン授業に変更して実施することがあります。ポータルサイトの授業掲示板に注意してください。

休講となった科目は必ず補講がありますのでポータルサイトをご確認ください。

(学部事務室 山縣)

※1 気象庁より「静岡県中部南」に発表されるもの

※2 静岡市により「駿河区」に発令されるもの

※3 JR東海道本線で富士駅～藤枝駅間の不通をいう

☆後援会☆

いつも大学後援会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今回は、昨年度の主な活動内容についてご報告申し上げます。

後援会では、学生の皆さんが安心して充実した学生生活を送ることができるよう、様々な事業への支援を行ってまいりました。例年どおり、学内奨学金への助成をはじめ、学内の定期清掃や樹木剪定など教育環境の維持・整備に対する助成を実施しました。また、学生食堂における食材費の補助を行い、物価高騰が続く中でも学生の皆さんが安心して利用できる食環境の維持に努めました。さらに、昨年度は楓祭60周年記念行事への助成や大学広報活動への支援も行い、学生や教職員が一体となって取り組む大学行事の充実と大学の魅力発信に貢献しました。これらの事業を通じて、学生生活を支える環境づくりに努めています。

また、昨年7月には学内に新たなコンビニがオープンし、お弁当やパン、カップ麺をはじめとする食品に加え、ゲームなどの商品も一新されました。利用した学生の皆さんにとっても、新しい店舗は大きな驚きであったことと思います。コンビニ前ラウンジにも多くの学生が集い、食事や談笑を楽しむ姿が見られるなど、学生の憩いの場として新たなにぎわいが生まれました。日常的に学生同士が気軽に集まり、交流できる空間として活用されている様子を目にし、大変嬉しく感じています。

後援会では、今後も学生生活のさらなる充実を目指し、厚生福祉、学内奨学金支援、施設整備をはじめとする各種事業を継続してまいります。

(総務課 寺尾)

☆経営課・連携課☆

2026年度 公開講座のご案内

本学では、毎年地域の皆さまに本学の教育・研究の成果を広く知っていただくことを目的として、公開講座を開催しています。

今年度も、本学教員がそれぞれの専門分野を生かし、心理学や文学、地域づくり、環境・資源の有効活用、短歌・俳句など、多彩なテーマで全6回の講座を行います。身近な話題から専門的な内容まで、どなたにも興味を持っていただける内容となっています。

学生の皆さんにとっては、授業とは異なる視点から学びを深める貴重な機会です。また、ご家族の皆さまや地域の皆さまにも、本学の教育・研究活動に触れていただける機会となりますので、ぜひご参加ください。



【講座日程・内容】

- ・10/9(金) コミュニティ福祉学科 松野 真先生
「『感情』のおはなし」
- ・10/29(木) 食物栄養学科 庄司 豊先生
「みかんジュース廃棄物の有効利用法」
- ・11/12(木) 人間社会学科 鈴木 正和先生
「小説の向こう側にある光」
- ・11/27(金) 人間社会学科 酒井 渉先生
「実社会で活かすユング心理学」
- ・12/4(金) 現代コミュニケーション学科 勝俣 文子先生
「短歌の魅力、俳句の威力」
- ・12/18(金) コミュニティ福祉学科 志田 倫子先生
「学びから始まる地域づくり」

会場は静岡市葵生涯学習センター(アイセル21)です。受講方法などの詳細は、大学と生涯学習センターのホームページに掲載予定です。学生・ご家族、地域の皆さまをはじめ、多くの方のご参加を心よりお待ちしております。(経営課・連携課 佐野)



静岡英和学院大学
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY

〒422-8545

静岡市駿河区池田1769

TEL 054-261-9201 FAX 054-263-4763



静岡英和学院大学短期大学部
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

最新情報 <http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp>

ご意見・ご感想 info@shizuoka-eiwa.ac.jp

企画・編集 学報委員会